プログラム

■ Kesh/Morrison's Jig / Out on the Ocean(Jig)

■ Toss the feather's 2 / Toss the feather's 1 /Gravel Walk (Reel)

■ Down by the sally garden (Air)

■ Harvest home / Belfast (hornpipe)

■ Irish washerwoman / Calliopehouse (Jig)

■ Anniversary

■ Danny Boy (Air)

■ Minor Bee

■ Hey Polka (Polka)

■ Josefin Waltz (Waltz)

■ Maggie in the Wood / Last chance set(Polka)

■ Silver Spear / Miss Mcleod's Reel /Pachelbel Canon (Reel)

曲名・曲順に変更がある場合があります。ご了承ください。

■■■■■■■■ 楽器の紹介 ■■■■■■■■

●フィドル（Fiddle ） バイオリンのこと。古くからアイルランドの伝統音楽で使われており、クラシックとは違う奏法です。
フィドラーは耳で聴いて覚えることが多いので、時折メロディーが違ってきたり、同じ曲でも題名が違ったりします。

●アイリッシュ・ハープ （Irish Harp）
アイルランドを象徴する楽器としてアイルランドの国章や硬貨やギネスビールのマークにも使われています。素朴で柔らかな音色に心癒されます。

●マンドリン(Mandolin)
アイルランドでは底が平らになっている「フラットマンドリン」が主流です。弦の本数や調弦方法はフィドルと同じです。哀愁漂う曲がとても似合います。

●ギター(Guitar)
伴奏楽器として端正にリズムを刻んだり、時にやさしいアルペジオが聴こえてきます。ほかの楽器をバックアップする心強い存在です。

●ティン・ホイッスル(Tin Whistle)
ティン・ホイッスルはブリキ(=Tin)でできた縦笛です。値段が安く簡単に吹けることから、アイルランドではとてもポピュラーな楽器です。

●ロー・ホイッスル
ティン・ホイッスルより長い縦笛で、深く低い音が味わい深いです。

●フルート(Flute)
アイルランドの音楽で使われるアイリッシュフルートは、木製のものが主流です。穴を直接押える点が金属製のフルートと大きく異なる点です。あたたかみのある音色とパワフルな音色によって多彩に表現します。今日はクラシックでも使われるフルートも登場します。

●コンサーティーナ(Concertina)
アコーディオンの一種で、かわいらしい６角形の形をした胴体の左右に配列されたボタンを押して音を出します。演奏者がまだまだ少ないので、今日は貴重な機会です。存分にお楽しみください。